

博学連携事業「博物館と授業をしよう！」

博学連携事業とは

ミュージアムパーク茨城県自然博物館では、教育普及活動の1つとして、「博学連携事業」を行っています。「博学連携事業」とは、博物館と学校とが連携・協力し合いながら、子どもたちの教育を推し進めていこうとする取り組みです。決して一方通行ではなく、博物館と学校の相互の専門性を生かした活動を行います。学校では味わえない体験をとおして、児童生徒の自然への興味関心を高めるとともに、自然への理解を深めることをねらいとしています。



対象

茨城県内の小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校、高等学校、特別支援学校を対象とします。年間で【5校】の実施を予定しています。

内容

年間計画や単元計画に組み入れた博物館を活用した授業の実施。

学習指導要領に沿った新たな学習プログラムの構築。

課外授業やクラブ活動、部活動における博物館と学校との活動。

これまでの実践例については、別添の資料を御参考にしてください。なお、授業は年間複数回（最大5回まで）の実施とし、博物館で1回以上の授業を行うこととします。

実施校の決定及び授業を行うまでの流れ

- 1 申込みシートに必要事項を記入の上、博物館に提出する。
- ↓
- 2 当館で選定の上、決定通知をする。
- ↓
- 3 実施が決まったら博物館担当職員と打ち合わせを行う。
- ↓
- 4 実施計画書を作成する。
- ↓
- 5 (来館時) 実施計画書、団体見学申込書、入館料減免申請書を博物館に提出する。
- ↓
- 6 授業を行う。(博物館で・学校で)
- ↓
- 7 年間の連携事業終了後、報告書を提出する。

募集しめきり

別添の申込みシートを作成し、メール (inm-edu@nat.museum.ibk.ed.jp) で御応募ください。募集期間は4月1日から8月末日までとします。なお、5校の実施が決まった時点で、年度内の募集は締め切りとなります。

主な学習実践例

授業で活用するうえで、以下の3つの学習型が考えられます。

●発見学習型

単元の導入時に博物館を活用し学習の動機づけをする学習型。興味・関心を高め、学習の基礎的な枠組みを作ることが目的。

- 小学3年生 理科「こん虫をそだてよう」
 - ・昆虫の種類や生育環境を見学して学び、観察の動機付けとする。
- 小学6年生 理科「土地のつくりと変化」
- 中学1年生 理科「大地の変化」
 - ・野外施設での露頭の観察、館内で貝化石、はぎ取り標本の観察をする。
- 小学6年生 総合的な学習の時間「環境保全について」
 - ・菅生沼の保全活動
- 中学1年生 理科「種子をつくらない植物の特徴」
 - ・常設展示でシダ植物やコケ植物を特徴や生活史を学び、実物を観察する。
- 高校1、2年生 探究型授業
 - ・館内の展示を活用して探究テーマの設定の材料とする。



●調べ学習型

学校では解決できないことや児童生徒の疑問に対して博物館を利用して調査する学習型。博物館を見学して自分の考えを確認したり、課題を解決したりすることが目的。

- 小学1年生 生活科「なつ（あき）となかよし」
- 小学4年生 理科「季節と生きもの」
 - ・野外施設を活用して、季節ごとの生きもののようにすを観察
- 小学3年生 理科「動物のすみかをしらべよう」
 - ・野外施設を活用して、生息環境を調査する。
- 小学3年生 理科「こん虫を育てよう」
 - ・野外施設で採集後、発見工房等で体のつくり等の観察
- 総合的な学習の時間「池や田、用水路にすむ生きもの調べ」
 - ・プランクトンを採集し、観察する。常設展示を見学する。
- 中学1年生 理科「大地の変化」
- 中学2年生 理科「生物の進化」「動物のなかま」
 - ・常設展示や館所有の資料を使った学習
- 高校1、2年生 探究型授業
 - ・研究の手法等について学芸員と相談し進める。



●まとめ学習型

学習の単元終了後に博物館を活用して学習内容を確認する学習型。知識や概念の定着を図るのが目的。

- 中学2年生 理科「動物の生活と生物の進化」
 - ・シソチョウのレプリカの観察や館内の見学
- 小学5年生 理科「メダカのたんじょう」
 - ・野外での水の採集、プランクトンの調査
- 中学1年生 理科「植物の生活と種類」
 - ・植物の種類と特徴、分類について館内を見学してまとめる。
- 中学3年生 理科「生物どうしのつながり」
 - ・野外施設を活用して土の中の小動物を観察し、食物連鎖の関係を学習する。



ミュージアムパーク茨城県自然博物館
担当：教育課 主任学芸主事 稲葉 義智
〒306-0622 茨城県坂東市大崎 700
TEL 0297-38-2000 FAX 0297-38-1999
e-mail: inm-edu@nat.museum.ibk.ed.jp
ホームページ: <https://www.nat.museum.ibk.ed.jp/>

学校名	坂東市立茨博小学校	4	学年	人数	30人	担当者名	茨城博
住所	坂東市大崎700			メールアドレス	inm-edu@nat.museum.ibk.ed.jp		
電話	0297-38-2000			FAX	0297-38-1999		
利用施設	1 館内展示室 () ② 野外施設 ③ 自然発見工房						
利用内容	① 授業での利用 (生活科・理科・総合的な学習の時間など) 2 授業外での利用 (クラブ活動・部活動など)						
教科	理科	単元名	季節と生き物 (夏)・(秋)・(冬)・(年間のまとめ)				
ねらい	季節ごとの生き物の活動や様子について興味・関心をもって追求する活動を通して、動物の活動や植物の成長と季節の変化との関わりについての見方や考え方をもちとすることができるようにする。						
単元計画	<p>【季節と生き物 (冬) : 1月】 ※夏 (7月)・秋 (10月) も同様に実施。</p> <p>1 (1時間) これまでの季節について振り返る (学校)</p> <p>2 (1時間) 見られる生き物のようすを予想する (学校)</p> <p>3 (2時間) 博物館での観察 (博物館)</p> <p>4 (1時間) 振り返り (学校)</p> <p>【年間の観察記録の報告会】</p> <p>1 (3時間) 報告会資料作成 (学校)</p> <p>2 (1時間) 報告会 (学校) ※博物館職員が来校して参観・講評</p>						
学校での学習活動				博物館での学習活動			
<ul style="list-style-type: none"> ・予想や観察場所の確認のための事前指導 ・振り返りや観察記録のまとめなどをする事後指導 ・年間観察記録のまとめ 				<ul style="list-style-type: none"> ・野外施設での生き物の観察 (グループに分けて) (・メール等で児童の質問に回答していただけるとありがたい。) ・報告会では博物館職員が来校しての参観・指導 			